

われわれの病院・診療所は  
働くひとびとの医療機関である



船橋二和病院ホームページアドレス  
https://www.futawa-hp.jp



船橋二和病院  
船橋二和病院健康友の会  
〒274-0805  
千葉県船橋市二和東5-1-1  
TEL 047(448)7111(病院)  
TEL 047(449)4417(健康友の会)  
発行責任者 宮野 暁  
月一回発行 1部 50円

## 2022年度友の会「拡大強化期間」9月～12月

# 第39回 保健大学・社会保障学校開催 高齢者訪問実施 安心の地域づくりをすすめ 大きな友の会を!!

### 各地区で高齢者訪問に 取り組んでいます

安心して住み続けられる地域づくりをめざして、各地区では高齢者訪問に取り組んでいます。この間の高齢者訪問のなかでお話しした方をご紹介します。

85歳女性で、独身の息子さんと同居しています。健康と筋肉維持のため数年来、平岩トレーナーの体操教室に通っています。見た目では筋力が少し落ちている様子でした。家事全般は自分でできているとのことでした。食欲はありますが、太れないのが悩みだとのことでした。

最近97歳のお兄さんを引き取り、面倒を見ているとのことでした。昨日、お兄さんの診察に付き添ったとのことでした。

介護サービスを受けるよう助言しようとしたら、すでにその手続きをされていて、近日中に介護認定のための審査に来るとのこと。「玄関までの段差解消と手すりの設置は自分のためにも必要です」と話していました。85歳からの介護は大変だと思いました。

二和地区 庄子せつ子



二和地区 憩いの場 第3回「琴の演奏」

第39回保健大学が11月1日から開校しました。コロナ禍のため院内での開催が難しくなっていました。2年ぶりに人数を制限して計8回の講義を予定しています。今回19名の方が申し込んでくださいます。

船橋二和病院は1981年(昭和56年)5月に開院しました。当時の二和病院の周辺には大きな医療機関はなく、内科、外科、小児科だけでなく、心臓血管外科、産婦人科など新しい科

をつくり、300床規模の拠点病院として将来のセンター病院を目指すこととして、第2期3期の計画を経て現在の299床になりました。



お話し後のグループワーク



松隈英樹院長

た。第1回目は船橋二和病院院長の松隈先生よりあいさつの後に「船橋二和病院の歴史と医療活動」についてお話をいただきました。

2020年1月から新型コロナウイルス感染症の第1波が始まりました。二和病院は2020年9月に千葉県新型コロナウイルス感染症対策重点病院の指定を受けて、その対応に当たってきました。新型コロナウイルスの現状や今後の医療情勢がどうなっていくかというお話を聞くことがで

### 2年ぶりに「第39回保健大学」を開講

コロナ感染拡大が再び広がりはじめ、第8波のきざしがみえているなか、9月から12月まで「入ってよかった友の会」「楽しい友の会」をめざす取り組みを行ない、3ヶ月が経過しました。11月は、「お元気でですか」「お変わりありませんか」と、80歳以上の会員さんを訪問させていただき取り組みを行いました。また、2年ぶりに第39回保健大学、社会保障学校を開催しました。各地区では、散策、ゆる体操、健康チェック、健康講座、おしゃべり会など活発に活動しました。いよいよ「拡大強化期間」は最終月に入りました。12月、130人の会員をむかえるため頑張りましょう!!

きました。人口の超高齢化により、急性期病床を減らし、慢性期病床を増やそうとしている。財務省は保険範囲の制限と、病院から遠ざけることで、医療費の増大を抑えようとしている。マイナンバーカードの義務付けなども医療の効率化と医療費の削減が目的。そして医療費を削って軍事費を増やそうとしているなど、内容の濃い時間となりました。受講者の方からは「コロナワクチンは何回まで打つことに



藤田まつ子さん

### 「全世代型社会保障改革」について学習

担の公平性を確保するといいながら、給付と負担の損得勘定による世代間の対立をあり、抜本的な「給付と負担の見直し」をねらうものです。

### 全世代に負担増を

負担の公平性といいながら、若い世代、高齢者の全世代に負担増を強要する内容です。10月から75歳以上の医療費窓口負担2割化の実施、介護保険では、介護保険料を現在40歳からの徴収を年齢の引き下げ、介護サービスの開始年齢を現在60歳から65歳以上とすることなどが検討されています。

藤田さんの学習の前に友の会社保活動部の稲田悦郎さんが、「国保・医療・介護などに関連した福祉制度、減額制度の活用で暮らしの改善を」についてお話ししました。

### 「全世代型社会保障検討会議」の立ち上げ

2019年12月に安倍政権が「全世代型社会保障検討会議」を立ち上げました。議長は安倍晋三首相で、メンバーは、経団連会長と経済同友会幹事、労働界代表、介護の現場や受給者の代表は誰一人参加していません。

「検討会議」は、「中間報告」を発表しました。その内容は、世代間の給付と負

などの感想が出されました。保健大学実行委員 山口みなみ(ふれあいクリニック保健師)

# いき友の会活動

## 医師の地域活動 白井市健康チェックに参加して

白井地区

初めまして。船橋二和病院初期研修医の糸氏望菜と申します。今回、白井市健康センターで開催された健康



には、生活習慣の改善が1次予防、早期発見・早期治療が2次予防、早期社会復帰を目指す3次予防ですが、加えて健康習慣を助けるための環境づくりを0次予防と言います。今回の健康チェックは0次から2次予防まで行える良い取り組みであると感じました。人は家庭や地域、職場など

# 私のアイドル



これからも ずくずくと  
元気に成長してね!

児玉ゆずちゃん 1歳8か月  
透析科 児玉香澄さん、県連事務局  
医学対 児玉亮佑さんの長女です。

ります。その一員として白井市の地域の皆様と関わることができたことを光栄に思います。本格的な寒さに向かう時節、皆様体調を崩されませんようにご自愛ください。

船橋二和病院  
初期研修医 糸氏 望菜

この度、地域の健康チェックに参加させていただいた船橋二和病院 初期研修医の大城玲王と申します。当日は予定の24名を大幅に超える48名がご参加くださいました。骨年齢、握力、片足起立、反射神経等

船橋二和病院  
初期研修医 大城 玲王

## アツと言の間!

### 『いつでも元気』おしゃべり会

芝区 高西地

10/8(土)高根木戸東町会会館で初めての『いつでも元気』読者会を開いてみました。堅苦しくなくおしゃべり会とし、9名参加がありました。



どうい風にかと持っていたら良いのかと考えてみたが思いつかず、最初なので気楽におしゃべりで良いのではと落ち着きました。思いついた人が話をし

て、気になったページを題材にする。中でも「補聴器はコンピュータで出来ているので高価なのだ」と初めて聞きました。途中で、脳下して休憩。次回はいつ頃にしようか? 3/4か月に1回開こうか

等々、徐々に『元気』の中に自分の身の周りの話題を見出し、興味のある事柄を皆で話し合い深めていけたらと思う。2時間がアツと言の間を過ぎてしまっ

た! キョウイク・キョウヨウで!。 田代 照代

## 笑顔は健康の源

### 体操教室

西谷 鎌地



10/19(水)小野毅医療トレーナー(ふれあいクリニック)のもと「加齢に負

けない身体づくり」に15名の会員が参加しました。衰えは足から来るといわれますが、椅子を使っ

ての動作、大腿部をきたえる運動等、運動不足の身体は思うようには動いてくれません。簡単な運動を毎日続ける事が大事です。一時間の実技の後は自己紹介です。おしゃべり解禁で時間が足りない様でした。久しぶりの集まりは元気のもとになります。皆の笑顔は健康のもとです。あつと言の間の日

小川 富恵

## 画期的だった!

### ゆる体操

東谷 鎌地



10/14(金)東谷学習センターで、ゆる体操&おしゃべり会を行いました。参加者は8名。コロナ禍で集まる事が出来ませんでした。が、やっと皆様の笑顔が見られました。看護師の若尾さんの指導の下にストレッチ体操を行い、身体をほぐしました。遊びを入れた、楽しいものでした。そのまま、おしゃべりに入り、自己紹介、自分の健康法など話し合いました。ウォーキング、安全な食物規則正しい生活、その他いろいろの発言がありました。会員1名、いつでも元気が1部、保健大学1人申し込みがありました。鎌ヶ谷東地区としては、画期的な事です。12月には

紅葉狩りを計画しています。是非ご参加して下さい。 並木 美代子

## なるべく整形外科的な雑談

23-2

そもそも人間社会と云うものは、他者に対する何かしらの暗黙の信用、信頼で成り立っているのではないのでしょうか。隣にいる人についていられない、刺されるかわからない、などと思っていなければならぬのでは、電車にも乗れません。国同士も同じではないでしょうか。信用、信頼関係を築けず、軍備拡張をつづけている世界には、平和が訪れないのは明らかです。クリスマス停戦、という言葉も聞いて、ある子どもが驚いて言いました。「そんなことができないなら、はじめから戦争なんてするなよ。ちゃんと話し合えよ」と。

核戦争の悲惨な結末が予想できない人はいないでしょう。被爆地の惨状を目の当たりにした人の言葉が忘れられません。「亡くなった、傷ついて苦しむ数知れぬ人たちの姿は、地獄などと言つ言葉では到底言い表せるものではなかった。(遙かにそれを越えていた。)」

ボリス・ヴィアンの歌を聞いて、1人1人の人は、きつと共感するでしょう。大多数の人は戦争に反対でしょう。それでも戦争は起こる。何故でしょうか。他者を不幸にして得られる幸せはない、他国を犠牲にして得られる自国の幸福もない、と知るべきです。

何もできないと思ってい

ではなく、人のために国があるのだ。そこを間違えてはいけない、と誰かが言っていました。国を愛することは、人を愛することです。文化を愛することです。動物や植物を愛することです。海や山など、自然を愛することです。ナショナルリズムとは全く違うものでしょう。

異常気象、災害、感染症、貧困、飢餓など、力を合わせて取り組むべき問題が山積する中、人間同士殺し合っているなんて、一体何をしているのでしょうか。目の前の一人の生命、健康のために力を注ぐ医療と真逆の行為「戦争。医療人はこれを嫌悪しています。いい加減にしてくれ、と。いつか人類には、「昔は戦争なんて愚かなことをしていたんだ。人間同士殺し合っなんて不思議だね、怖いね、信じられないね。」と話す日がきつと来る、そんなことを心から期待している人は決して少なくないはず。理想を語り、目指すことを恐れずにいたいものです。

## 整形外科 大井康二医師

### 年会費納入のお願い

前年の12月にご入会いただいた方は、年会費納入の時期です。また、それ以前にご入会の方で、年会費をお支払いいただけていない方も、年会費の納入をお願いいたします。ふたわ診療所友の会(11月)・友の会事務所(12月)の2回、毎月10時~12時(月)金、10時~16時(月)金で受付いたします。お問い合わせは友の会事務所まで。納入の際は会員証をお持ちください。また、お近くの友の会役員がお訪ねする場合があります。友の会事務局(0477-449-4417)